

平成30年5月11日

各 位

会 社 名 データセクション株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 林 健 人  
 (コード番号：3905 東証マザーズ)  
 問い合わせ先 取締役 CFO 望 月 俊 男  
 TEL. 03-6427-2565

平成30年3月期通期の連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成29年5月12日に公表しております平成30年3月期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の通期業績予想と、本日公表いたしました当期実績値との差異について、下記の通りお知らせいたします。

なお当社においては、通期業績予想をレンジにて開示しており、当期実績値は通期業績予想のレンジ範囲内です。

記

I. 平成30年3月期 通期業績予想値と実績値との差異（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

単位：百万円	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	650 ～850	20 ～170	15 ～160	9 ～104	0.86 ～9.17
今回実績 (B)	721	45	45	16	1.41
増減額 (B-A)	△129 ～71	△125 ～25	△114 ～30	△88 ～7	—
増減率 (%)	△15.2 ～10.9	△73.5 ～125.0	△71.4 ～204.8	△84.6 ～78.3	—
(ご参考) 前期実績 平成29年3月期	593	79	71	36	3.48

II. 下方数値を上回った理由

平成30年3月期において、以下の施策を積極的に実施いたしました。

1. 高付加価値事業に注力し売上拡大。
2. 3Qに実施したM&A先の発展による売上利益の向上とともに、4Qも継続的にM&Aを行い収益基盤を強化。
3. MLFlow (※) などAIソリューションを本格的に提供開始。また投資は積極的に継続。

具体的には以下の通りとなります。

① MLFlow α版のリリース

- ・平成29年12月にα版をリリース。平成30年2月には「AIを活用した映像解析技術」の優位性を活かして、ドローンと映像解析技術を組み合わせた太陽光設備の異常点検サービスをリリース。

② AI事業の展開

- ・文章自動生成、掲示板監視、AIファンドなどのサービスを展開。

- ③ インバウンド市場の拡大に伴う外国人行動分析事業の売上向上
  - ・観光庁、JNTO（日本政府観光局）、地方自治体、その他省庁からの大型案件を受注。
- ④ KAG ネットワークソリューションズ株式会社（現、株式会社ディーエスエス）の M&A による 4Q 売上への貢献
  - ・システム運用保守事業を M&A により継承。安定的な収益を連結。
- ⑤ システム開発の高収益化が進捗
  - ・大口顧客からの安定的な受注の確保。
  - ・ストック型の売り上げモデルの拡大により、継続的な売り上げ増を実現。

上記の結果、平成30年3月期通期の売上高は721百万円（前期比21.4%（127百万円）増）となり、業績予想の下限値を上回りました。

一方で業績予想の上限値を下回っておりますが、こちらは新規事業や AI 事業への人材・工数の投資（AI プラットフォーム・MLFlow や新サービスの開発）にコストを要したことによるものです。以上から、当初の業績予想値との間に差異が生じております。

（※）MLFlow：機械学習の開発や研究を容易に実施することができる、当社開発のプラットフォーム。機械学習や IoT を利用したソリューションのローンチスピードアップと、開発コストの低下に寄与。

詳細につきましては、本日発表いたしました「平成30年3月期 決算短信」をご覧ください。

以上